

續古今和歌集竟宴倭詩

後醍醐天皇製

續古今和歌集竟宴

和歌

三代上皇小古

名意好

光孝子

玉叶

姫

卷首

續古今和歌集

紅薄板 後唐花 晴るる

大宮院權中納言

九

わつらうたにかきて

あひたつるこもれ

世ふしむるね

あまのしづか

三かき

白薄板 後唐花 晴るる
中納言

こころのほゆれ

たまぬくあをや

まこり

續古今和歌集

暮春續古今倭語集竟宴

暮春續古今倭語集竟宴

春日續古今和歌集

用白從一位臣藤原朝臣實經上

たつしたふや梅と木

さは乃名子のつらなを

心と能ほく乃月小見

あつれ

春日續古今和歌集竟宴

卷百三十八

應製倭歌

後一位臣藤原朝臣相上

あはれをいふははるかに

あはれをいふははるかに

あはれをいふははるかに

うらな浪

春日侍續古今和歌集竟宴應

太皇製和歌

後一位臣藤原朝臣實雄上

如承久小乃あはれをいふ

かたはれをいふははるかに

あはれをいふははるかに

事すあはれ

春日侍續古今和歌集竟宴

周詠一首應 太皇製和歌

三位行兵部卿臣藤原朝臣隆親上

あはれをいふははるかに

あはれをいふははるかに

あはれをいふははるかに

らうの勢

春日陪續古今和評集竟宴應

太上天皇製和評

正二位行大納言臣藤原朝下良致上

悠々考息れりもせも新

不志まのの浦小意こ乃

地さしきあ宅 おを

後祿云

春日陪續古今和評集竟宴應

太上天皇製和評

正二位臣藤原朝下資季上

いくちももきんらん

こてやひろふらんわか

のうらわらふする

らうま

春日陪續古今和評集竟宴應

太上天皇製和評

正三位行権大納言臣藤原朝下良致上

あは先川え伊小し色

いゆ乃ここれ禁の髪敷

まき千る勢乃を先しふ

巳計起

春日休續古今和歌集竟宴應

右正皇製和歌

三位行按左納言藤原朝下通雅上

か敷く小みふくたま

乞能河原志れて三代

新法かゝる歌和歌乃

浦なりん

若春陪續古今和歌集竟宴應

右正皇製和歌

春日計 三位行按左納言藤原朝下雅上

悠々す急乃を先くを歌

へ畏以耳く色にかを

多を思得法歌より此字

新なりん

暮春陪續古今和歌集竟宴

應製倭歌

三位行權左納言藤原朝下家經上

法寺も勢くもゆれる友

このいふあは保くいも

春川女礼不也まこと

と乃は

春日侍續古今和歌集竟宴應

右皇製和歌

正三位行中納言藤原朝下為成

竹契乃系藤原小見乃系系

たまはけりしひをまき

伊予へいまはかき

み家式

春日侍續古今和歌集竟宴應

右皇製和歌

正三位行中納言藤原朝下長雅上

於系新名年弟女者

斗光系伊丹志色能女系

仁古系系教王賀乃字

良那系

春日侍續古今和歌集竟宴應

右皇製和歌

密議正三位行中納言藤原朝下

高美人乃字乃乃代

てまゝのりつ能余らにまの
賀むをるるのがまや川
をらむ

春日侍續古今和歌集竟宴應

太上皇製倭詩

春議三位行右兵衛督兼伊予權母藤原朝高上

わのれ余存や代ふ小意
心ろぬをぬなれ迄去乃
ぬひはる余みかけ致
とねし

春日侍續古今和歌集竟宴應

太上皇製和詩

春議三位臣源朝下實平上

いふし多にをを地り
和舟れ余存乃をとも
子宅幣の、あはみ
しんを

暮春續古今和歌集竟宴應

太上皇製和歌

春三位行右京大夫臣藤原朝下行家

新きしはらみられえ
宅は幾く結なりふ
みつきたたま紙え
るれ

春日侍續古今和歌集竟宴應

右上方製和歌

三位行右兵衛督臣藤原朝高教

いまもなれり乃うら
う勢をさすしそま
をさるんかく少代あ

ふうふ

春日侍續古今和歌集

竟宴應

右上方製和歌

三位行左近衛中將臣藤原朝高

いふしへもいよまか
まやのまみ乃御代
りかすよふやまむ
さ乃

春日侍續古今和歌集竟宴應

太上皇製和歌

造東大寺長官文藏正四位行房并臣源朝雅言

わか幾子代御代をかく
大子以り新色小な哉
にち備さるわか代宗
路たのみ

春日休續古今和歌集

竟宴應

太上皇製和歌

藏人及正四位行右を兼侍中将源朝具言

榮多やまゝの代と乃を
先しをくりつゝ色新
はさ木れうつたらく津
多へむ

春日休續古今和歌集竟宴應

太上皇製和歌

正五位上行左少弁兼皇孫之進臣源朝経言

以ふーへもい満色
かゝるぬあそ先て
世まををみるくわ乃

うゝ浪

暮春續古今和歌集竟宴應

太皇太后御和歌

右近衛少将五位下藤原朝隆傳上

海法乃禁此ちちわ成

所代此た先くまてをよそ

少き梅と秋やう乃う

病のそ

文永三年三月十二日續古今和言集竟宴和言

御製律所中納言力成

律所具式初下

律所前右政下

抄製律所了有具九字之成

鉛少江波幸之

右續古今和言集竟宴倭致以為氏卿幸幸不遠二字書馬按合畢
按少卿補任及職事補任雅言朝臣上階具式初下下階而不書上字
蓋脱字乎